

西谷・曲師・出丸本地区における統合、再編検討委員会の今後の進め方について（案）

1. 統合、再編検討委員会の取り組みについて

西谷地区、曲師地区と出丸本地区（以下「西谷・曲師・出丸本地区という。」）は、持続可能な自治会運営のため、統合、再編に関わる課題等を整理し、区長の負担軽減等の課題解決に向けた検討を行うことを目的としています。

7月～12月までに、4回の会議を開催し、自治会の現状の把握、課題整理したなかで、持続可能な自治会運営のため、統合、再編を踏まえた自治会のあり方について意見交換を行い、西谷・曲師・出丸本地区統合、再編方針としてまとめました。

しかしながら、統合、再編の方針を示しただけでは、課題解決には至りません。今後は、この方針を参考に、具体的な協議を進めていかなければなりません。

2. 統合、再編方針と今後の進め方について

持続可能な自治会運営を図るため、自治会の現状を把握し、課題の整理、解決のための取り組みの方針をまとめた。要点は以下のとおりです。

現状	・ 少子高齢化、ライフスタイルの多様化 ・ ニーズの多様化、活動の固定化 ・ コロナ禍による自治会活動の制限 →自治会の弱体化が進行した。
課題	・ 少子高齢化、ライフスタイルの多様化を背景とした役員のなり手不足 ・ ニーズが多様化する反面、固定化する活動により区長の負担増 ・ コロナ禍による自治会活動の制限に伴うコミュニティの希薄化
今後の取り組み	・ なり手不足や区長の負担過多 →負担を分担できる組織体制を作る ・ ニーズの多様化、コミュニティの希薄化 →自治会員の要望を踏まえて、自治会で優先的に取り組む内容を定めて活動する。 組織的な活動を行うためには、一定程度の規模（５０～１００世帯程度）が必要と思われ、統合、再編を踏まえた見直しが目標達成に繋がると考えます。 また、統合、再編を行う際の課題を協議しなければならない。 ・ 規約、組織、運営体系をどうするか。 ・ 役職の内容、人数をどうするか ・ 既存の財産の管理、取り扱いをどうするか。
目標	・ 持続可能な自治会運営を構築する。 ・ 区長の負担軽減を図る。

区長（公民館委員）の参加事業

過去（平成２７年度） 概ね３７事業→現在（令和６年度） 概ね３１事業 ６事業減
また、継続事業でも、動員件数は減少しています。

3. 統合、再編の具体的な協議を始める前に行うことについて

各地区の自治会員に対して、統合、再編方針に基づき、自治会の現状や課題、今後の取り組みについて説明します。

その上で、今後、どのように進めていくか。意見交換を踏まえて決をとれればと考えております。

なお、この段階で、統合、再編の可否を決めるものではなく、あくまで、持続可能な自治会運営のため、統合、再編の必要性を聞いた上で、具体的な協議を行うことに対し、賛否を得るものです。

決をとる方法として、以下の方法を考えています。

- ・ 無記名の表決書を封筒に同封していただき、班長が回収したものを区長に提出し、区長から総務課に提出する方法。
- ・ 返信用封筒により、無記名の表決書を返送する方法。

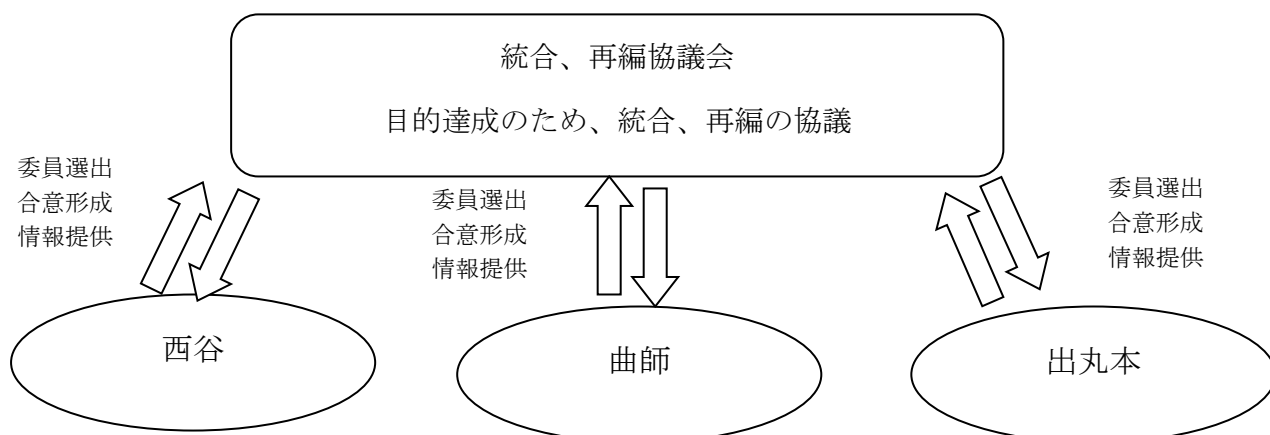
その結果で、回答者あった方のうち、

【賛成多数の場合】

→ 統合、再編方針を参考に、統合、再編協議会を設立し、各地区から委員を選任の上、具体的な協議を開始します。

委員だけで判断できない内容については、自治会員が集まるタイミング（美化運動）などに合わせて、意見を伺い、合意形成や協議内容の調整を行います。

【協議会の運営のイメージ】



【協議会の委員】

統合、再編検討委員会では、持続可能な自治会運営のため、統合、再編に関わる課題等を整理し、区長の負担軽減等の課題解決に向けた検討を行ってきました。

今後、統合、再編の課題解決に向けた協議については、改めて、「統合、再編協議会」という形で、各地区から選出された方を中心に行うべき協議する内容であると考えております。（概ね3名程度）

しかしながら、任意の選任が難しい状況であると予想されるため、統合、再編検討委員の方の中から一定数を選ぶことも必要であると考えます。

（例えば、区長経験者を中心に選任し、翌年度の区長を入れる等）

【スケジュール案】

※あくまでスケジュール案です。協議の進捗状況に応じてスケジュールは前後します。

※協議内容や委員の状況等に応じて、協議開催の頻度は増減します。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
協議会設立		⇒											
協議	協議会		●	⇒	●		●	⇒	●		●		
	地区	必要に応じて、 地区協議	⇩	●			⇩	●					
協議書作成		⇒											
総会												●	
準備													⇒

【反対多数の場合】

→ 統合、再編の検討を休止します。町としては、継続的に意向を伺いたいと思いますが、今回の統合、再編方針は、今後、統合、再編が必要になったタイミングでの参考資料として活用します。